

平成28年3月28日

平成27事業年度内部監査報告書

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
理事長 近藤達也 殿

監査室長 藤井明弘

独立行政法人医薬品医療機器総合機構内部監査規程（平成17年規程第9号）第8条の規定に基づき、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（以下「PMDA」という。）の平成27事業年度内部監査について、以下のとおり報告します。

1. 監査概要

平成27事業年度内部監査計画に従って、PMDAにおける「現預金の管理状況」、「物品の管理状況」及び「文書の管理状況」に関して、各種関係規程等に基づき適正に執行されているか監査した。

監査実施期間及び監査対象等は、以下のとおりである。

（1）「現預金の管理状況」監査

○監査期間

- 第1四半期分：平成27年8月7日
- 第2四半期分：平成27年11月13日
- 第3四半期分：平成28年3月2日
- 第4四半期分：平成28年3月24日

○監査実施者：監査室 2名

○監査対象

現預金の管理状況

- ・ 四半期単位での月次決算上の現金・預金の残高確認
- ・ 出納口座の資金移動状況

（2）「物品の管理状況」監査

○監査期間：平成28年3月2日～平成28年3月22日

○監査実施者：監査室 2名

○監査対象

USBメモリの取扱状況（今年度より実施）

(3) 「文書の管理状況」 監査

○監査期間：平成28年3月2日～平成28年3月25日

○監査実施者：監査室 2名

(なお、これに加え監査室自体の監査のため、臨時の監査員を1名任命)

○監査対象

PMDAが保有する法人文書の管理状況

2. 監査方法

(1) 「現預金の管理状況」 監査

- ・現金及び預金残高の整理表を、預金通帳や現金の領収書及び伝票と突合
- ・当該整理表と合計残高試算表の現金及び預金とを突合
- ・監査当日の会計課金庫内の現金の実査
- ・支払いに関連する機構出納口座の資金移動状況を確認

(2) 「物品の管理状況」 監査

- ・USBメモリの管理状況に関してヒアリングを実施
- ・USBメモリの保管状況に関して確認

(3) 「文書の管理状況」 監査

- ・各部に対して、保有している法人文書の管理状況について、法人文書の管理状況（廃棄も含む）の点検票の各項目に関してヒアリングを実施
- ・各部が保有している法人文書について、任意で選択した複数の法人文書について文書管理上の実査及び保管状況の確認を実施

3. 監査結果

(1) 「現預金の管理状況」 監査

- ・預金の管理状況について問題なかった。
- ・また、監査当日に保管されていた情報開示請求に係る手数料等の現金についても確認したが、問題なかった。

(2) 「物品の管理状況」 監査

- ・USBメモリの管理状況に関しては、大半の部室において、USBメモリ管理規則を策定し、利用状況を管理表で管理するなど、適切に運用していた。
- ・USBメモリの保管状況に関しては、全ての部室において施錠管理できる状態ではあったが、実際には施錠されていない部があった。

(3) 「文書の管理状況」 監査

- ・法人文書ファイル管理簿に記載された保存期間と実際の決裁に記載された保存期間が異なるものが見受けられた。
- ・法人文書ファイルに関して、背表紙が未整備なものが散見された。

4. 指摘事項

(1) 「現預金の管理状況」監査

- ・ 特段なし。

(2) 「物品の管理状況」監査

- ・ USBメモリ管理規則を策定していない部に対しては、早急に策定の上、管理するよう指摘した。
- ・ USBメモリの保管状況に関して、施錠されていない部に対しては、施錠の上、保管するよう指摘した。

(3) 「文書の管理状況」監査

- ・ 法人文書ファイル管理簿に記載された保存期間と実際の決裁に記載された保存期間が異なるものが見受けられたことから、法人文書ファイル管理簿の見直し等の機会に確認し、必要な措置を講じるよう指摘した。
- ・ 法人文書ファイルで背表紙が未整備なものに関しては、適切に整備するよう指摘した。

以上